

人権・平和・環境

みなみ風

発行

南部地域振興課(沼隈支所3階)
福山市沼隈町草深 1889 番地 6
TEL 980-7713
FAX 987-2382



Webは
こちらから

E-mail: nanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「みなみ風」で検索!

福山市南部地域振興課

検索



城西校区人権学習講座
(第2講座)

原爆と沈黙

～戦争がもたらした
二重の差別～

11月28日(金)、泉小学校で城西校区人権学習講座を開催しました。映像ディレクターで作家の渡辺考さんから、長崎の被爆者 中村由一さんに取材した際のお話を伺いました。

中村さんは2歳の時に被爆し、そのため髪がなかなか生えてこず小学生の時、「ゲンバク」と呼ばれる差別といじめを受けました。

また、被差別部落出身であることを理由に、就職差別にあり、出身地を隠して生きることとなりました。

こうして被爆者であることと被差別部落出身者という二重の差別により長い間沈黙を強いられてきました。それでも先輩や理解者との出会いにより、差別をなくすために自身の体験を語るようになりました。

アンケートでは、「広島戦争・平和を学ぶ機会があったが、長崎について特に差別があったことは全く知らなかった。」「知らないことが知れてよかった。」というような声がありました。知らなかった戦争の悲惨さに触れ、改めて平和や人権について考える、貴重な時間となりました。

至誠校区人権問題講演会

復興と伝承 そして…

～広島市豪雨災害を体験して～

2月7日(土)、山南交流館で見出しの講演会を開催しました。講師の松井憲さんは2014年に起きた広島市豪雨災害で被災された体験を基に、防災意識を高めるための啓発活動に携わっておられます。今回は災害時の人権についてお話を伺いました。

被災体験者のインタビューを収めた映像を視聴しました。真っ暗闇の中、叩きつける雨音と土砂が流れる轟音で抱いた恐怖。夜が明けて土砂に埋もれた住宅の屋根に上り救助を待つ不安。参加者は真剣に視聴していました。

松井さんは、広島市豪雨災害は77人もの尊い命と住み慣れた町を奪い、何よりも被災住民の心を奪ったと表現されました。復旧工事が始まって「こころの復興」は、なかなか進まなかったこと。それでも少しずつ自宅や集会所に集い、茶話会やサロンが始まるも家から出られない人もおられたこと。復興については①被災者の自立②地域社会の持続③歴史文化の継承の3段階で示されました。その時、特に心にとめてほしいのが「被災者に寄り添う」ことです。



被災後の復興の過程では住宅などの復旧のめどが立たないにもかかわらず、心ない言葉を向けられたり、自分のしんどさを押し込めて対応せざるを得ないため、そのことで2次被害に遭っていたそうです。こうしたことから、何よりも被災者の気持ちを最優先に考えてほしいと話されました。

災害は自然現象だから誰にも止めることはできない。だからこそ、災害後に被災者が安心して生活を取り戻せるように寄り添う社会が、災害時の人権を守るのだということを学びました。

南部なるほどキャンパス

人権・社会教育活動事業

福祉施設利用者
特別支援学校の児童・生徒

作品巡回展

息吹

いぶき



南部地域振興課では、人権問題や地域課題の解決に向けた学びを提供する事業を実施しています。今回は、「南部なるほどキャンパス」と銘打った啓発展示として、2025年12月4日から2026年1月14日までの間「作品巡回展 息吹」を南部地域振興課管内で実施しました。

「作品巡回展 息吹」は、誰もが大切にされる「平等な社会」について考えるきっかけを提供することを目的として実施しました。来場した方からは「こんな施設があるのを知らなかった」「自分にはない感性に触れることができた」などの感想をいただきました。

ピースメッセージ 2025



12月6日、南部管内コミュニティセンター合同事業『ピースメッセージ 2025』が能登原交流館にて、「おはなし広場」のみなさんによる大型紙しばい「かわいそうなぞう*1」「へいわってすてきだね*2」、展示「福山空襲80年～5万分の1の記憶～」、屋外で点灯するメッセージキャンドルを行いました。

「悲惨な出来事を繰り返した戦争の歴史に学び、憲法にある恒久平和の願いを次の世代に伝えられるよう、平和の尊さについて考え合う」ことを目的に開催するこの事業も今年で25回目を迎え、参加された方からは、「今生きている世界がある事は決して当たり前なことではないと改めて感じました。」「戦争平和について今一度考えるチャンスをもらいました。人権を大切にしたい。」「紙芝居は手作りで、いい内容でほんとうに感動しました。自分にできることは何か考えたいです。」「孫が来られなかったのが残念。」など、これからも平和な世界を望む気持ちがあふれるご意見をいただきました。



*1 戦争中、上野動物園で3頭のゾウが殺された実話をもとにした名作絵本。

*2 沖縄慰霊の日の式典での6歳の少年が朗読したメッセージをもとに描かれた絵本。

＼ 「なるほど」が たくさん！ ／

無意識の思い込み発見かるた

かるたを通して、日常に潜む「無意識の思い込み・偏見」について考え合ってみませんか？



市民の方から寄せられた、「無意識の思い込み」を読み札にしたかるたを作りました。一人ひとりが大切にされる社会の実現のために、地域の学習会などで使ってください。



詳細はこちら(市 HP)

1月18日開催

沼隈サンパルで開催された、沼南のど自慢大会唱声ひびき祭りでは、無意識の思い込み発見かるたの展示・体験コーナーを設置し、たくさんの方に「無意識の思い込み」について知っていただくきっかけとなりました。



☆ キッズスペースを試行設置しています ☆

子育て世帯やこどもの居場所として活用いただけるよう、試行的に交流館へキッズスペースを設置しています。南部地域振興課管内では、千年交流館と泉交流館山手コミュニティセンターの2館へ設置しています。

□利用料金:無料

□利用申込:不要 ※イベントや他団体が利用しているときに利用できない場合があります。

※ご利用の際には、事前に各交流館へお問い合わせを推奨します。

千年交流館

(福山市沼隈町草深 1889 番地 6)

実施期間:2025年6月20日

~2026年3月31日

場 所:2階講義室(和室)2階図書館

利用可能時間:平日8時30分~17時

対 象 者:小学生以下

※未就学児(保護者同伴)

泉交流館山手コミュニティセンター

(福山市山手町六丁目3番20号)

実施期間:2026年1月26日

~2026年3月31日

場 所:1階児童室

利用可能時間:平日10時~12時、13時~16時

対 象 者:小学生以下

※未就学児(保護者同伴)

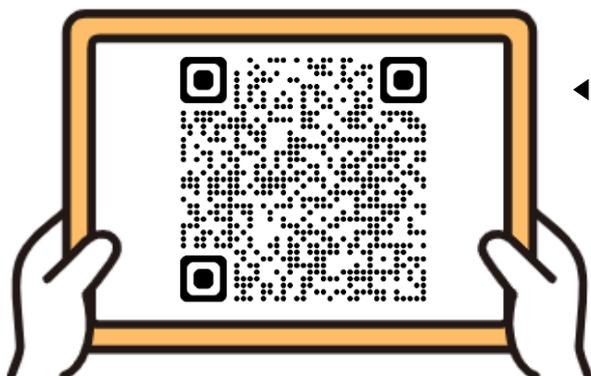
福山明王台高等学校でまちづくり出前講座を実施しました!

2025年(令和7年)12月10日に福山明王台高等学校1年生を対象とした、まちづくり出前講座を実施しました。

「福山市をよりよくするために」というテーマで福山市の現状と課題、これからの地域づくりに必要なこととお話しし、現在、南部地域で取り組んでいる内海町まちづくりミーティングとぬまトークについて紹介しました。

まちづくり出前講座とは…

福山市の取り組みや暮らしに役立つ情報を市の職員などが皆さんのところに向向いて分かりやすく説明します。詳細や申込書は、福山市ホームページをご確認ください。



◀◀こちらの二次元コードからも、福山市ホームページ
をご確認いただけます。

福山市 出前講座

